



鹿児島純心女子高等学校 進路だより

発行：進路指導部(令和3年12月17日)

今年も残りわずかとなり、冬休みが近づいてきました。先月受験した11月進研模試や定期考査の結果は、納得のいくものだったでしょうか。ただ得点を見るだけではなく、その結果をもとに、新年を迎える前にもう一度これまでの学習スタイルについて振り返り、冬休みの計画を立ててみましょう。

定期テストや模擬試験の結果を振り返り、自分の糧にしよう

冬休みは年末・年始にあたり慌ただしい時期ですが、これまでの復習を行うチャンスでもあります。下に、今までのテストのやり直しの方法をまとめています。参考にしながら、冬休み中に取り組み、基礎固めをしましょう。

- ① 今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ② 自己採点をする。この時、「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたかどうか」に注意して採点する。
- ③ 「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④ 「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミスの特徴」を認識して、もう一度問題を解き直す。

定期テストや模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず、力になります。

1年生・2年生は志望校・進路について改めて考えてみよう

1年生・2年生は「文理選択」「志望校の選択肢を広げる時期」です。自分が日頃、興味や関心のある分野について学ぶことができる大学・学部・学科の情報を広く集めてみましょう。そのなかで、自分が将来やりたいことをよく考え、志望校を何校か絞り込んでみましょう。

進路を考えるためのヒント

- その学部・学科を志望した理由は何ですか。
- その大学を志望している理由は何ですか。
- 自分がその大学や学部・学科で学んでいる姿がイメージできますか。
- 難易度だけで志望校を決めていませんか。
- 進学後や大学卒業後に「やりたいこと」「なりたいもの」はどんなことですか。

高校3年生：大学入学共通テスト受験に向けて

共通テストまであと少し。これからは学習面の対策も必要ですが、試験本番に向けての「心構え」も大切になってくる時期です。以下のポイントを押さえて、共通テストに臨みましょう。

【その1】学習面：共通テストまでにもう一度確認しておこう

- ① 模試などで、あいまいだった問題を確認しておこう（「解答解説」に線を引いておこう）
- ② 共通テストの出題形式に慣れよう（模試や問題集を活用しよう）
- ③ 時間配分の感覚を身につけておこう（見直しの時間も含め、時間内に解き終える練習をしよう）時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切。解き始める前にすべての設問に目を通し、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけよう
- ④ 1科目につき、あと2問ずつは確実に解けるように勉強しよう（1問は2～4点ある）
- ⑤ 絶対に落とさない科目を決めよう（取れる科目・分野で確実に得点できるように）

【その2】1点も無駄にしないマーク記入ルール

- ① わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること
- ② 訂正をする際には、跡が残らないよう完全に消しゴムで消すこと
- ③ 1つの設問に2個以上のマークをしていないかを確認すること
- ④ 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること

【その3】生活面：今のうちから生活リズムを整えよう

- ① 共通テスト開始は 9:30 から。夜型から朝型へ生活習慣を切り替えよう
- ② 普段と違う食べ物・飲み物には注意。いつも通りの食事をしよう
- ③ 受験勉強中に迎える年末・年始。生活リズムを崩さないように気をつけよう
- ④ 本番までは、携帯電話・メールを控えよう。本番に向けて集中力を高めよう

試験当日の過ごし方も考えておこう

共通テスト当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイント。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうに過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などを利用して確認しておこう。また、昼食時の気持ちの切り替えも重要です。